

[業界別レポート]
働く人と職場2018
－ファーストフード編－

[業界別レポート] 働く人と職場 2018 – ファーストフード編 – とは

「[業界別レポート] 働く人と職場 2018」は、特定の業界で働く意識や職場に関する意識について、個人側と企業側に調査した結果をまとめています。本レポートはファーストフードを対象としたものです。

個人側は4セグメントに分かれます。現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、ファーストフードでの就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、ファーストフードでの就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。なお、ファーストフード編では企業側の回答者数が少ないためレポートでは割愛しています。

ファーストフード業界全体に共通する魅力、もっと高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
まとめ —それぞれの上位5項目—	3
1. 仕事の選択理由	5
2. 仕事を継続する理由	6
3. 離職の理由	8
4. 必要を感じる改善点	9
5. 意向・非意向の理由	10
【参考】勤務時間	12

調査概要

- ・調査名：特定業種に関する調査
- ・調査目的：求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者側と企業側双方の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- ・調査期間：2017年9月27日（水）～9月29日（金）
企業側のみ追加調査 2017年10月27日（金）～11月13日（月）
- ・調査対象：20～59歳までの男女（全国）
 - 個人側
 - －現在、対象業種に従事している人
 - －過去に対象業種に従事したことがある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人
 - 企業側
 - －現在、対象業種に勤務しており、職位が管理職（課長・店長以上）・経営層、かつ人事・労務・教育または経営企画・総務業務を担当している人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象はファーストフードの、計656人。

	個人側				企業側	
	就業経験者		就業非経験者			
	A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者		
コンビニエンスストア	200	100	200	200	4	
ホテル・旅館	200	100	200	200	20	
飲食店	ファーストフード	111	100	200	200	11
	居酒屋	156	100	200	200	13
アパレル・雑貨販売	200	100	200	200	21	
介護サービス	200	100	200	200	43	
ドライバー	200	100	200	200	101	

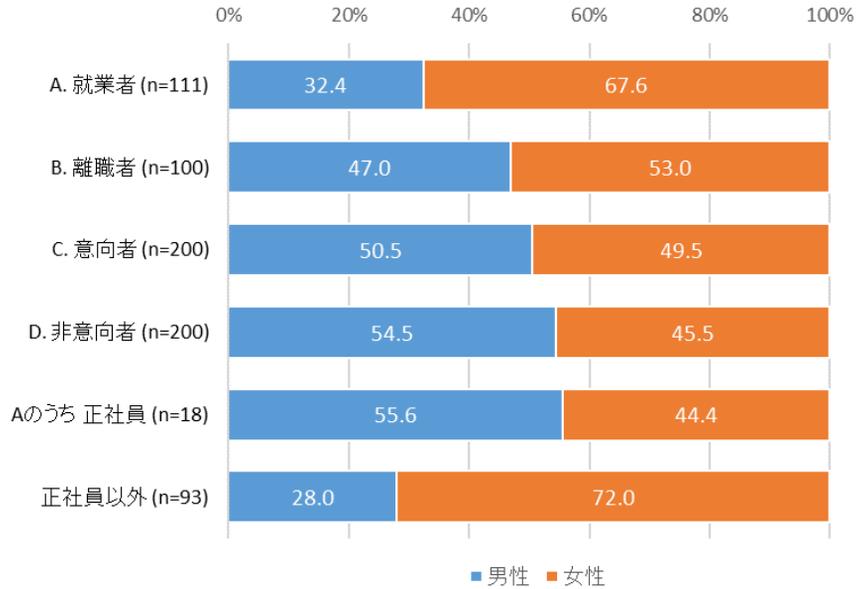
※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

■ 性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。A.就業者は女性が67.6%と7割弱を占めている。

A.就業者のうち、正社員*1では、5割以上が男性、正社員以外*2では約7割が女性となっており、特に正社員以外での女性比率が高いことがわかる。

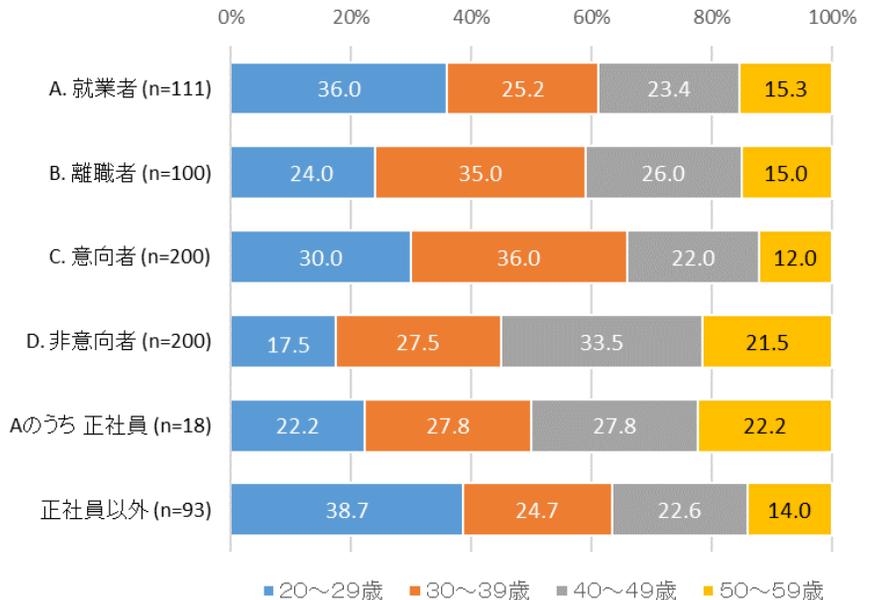


■ 年齢

回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。A.就業者では20代が36.0%でもっとも多くなっている。

A.就業者を正社員と正社員以外に分けてみると、正社員以外では20代が多く4割弱となっている。

また、C.意向者はD.非意向者に比べて20代、30代の割合が高い。



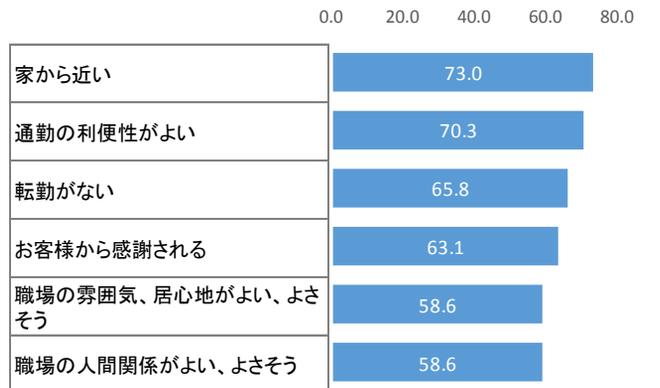
*1 自営業者などを含む。

*2 パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。なお、正社員以外のうち学生アルバイトは12.9%。

まとめ —それぞれの上位5項目—

■ 仕事の選択理由 就業者の上位5項目

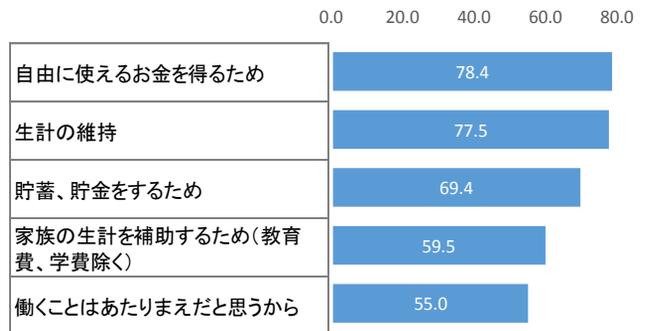
ファーストフードで働いている就業者がその仕事を選んだ理由の上位3項目は勤務場所に関することだった。次いでやりがいの面や、環境面が上位にあった。



(%, n=111)

■ 仕事を継続する理由 就業者の上位5項目

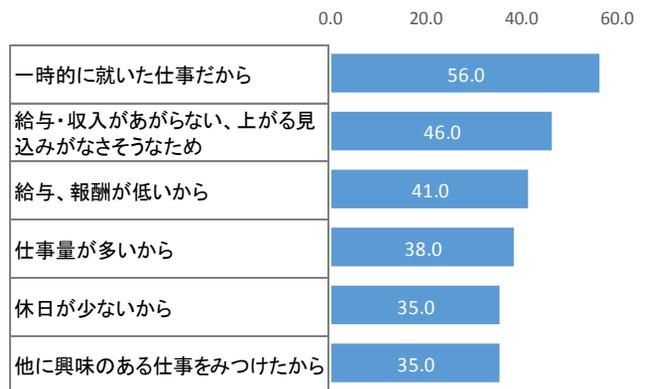
ファーストフードで仕事を続けている理由は、「自由に使えるお金を得るため」と「生計の維持」が8割近くにのぼるなど、経済的なものが上位を占めている。また、「働くことはあたりまえだと思うから」なども半数以上の人があてはまると回答している。



(%, n=111)

■ 離職の理由 離職者の上位5項目

以前はファーストフードで就業していたが現在は辞めている離職者の離職理由でもっとも多いのは「一時的に就いた仕事だから」だった。次いで給与面や「仕事量が多いから」「休日が少ないから」といった労働負荷の高さが理由にあげられた。

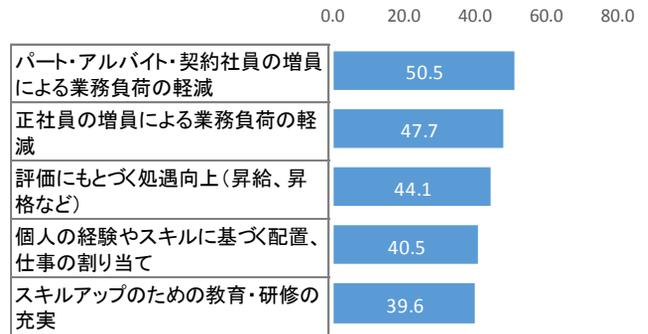


(%, n=100)

まとめ —それぞれの上位5項目—

■ 必要を感じる改善点 就業者の上位5項目

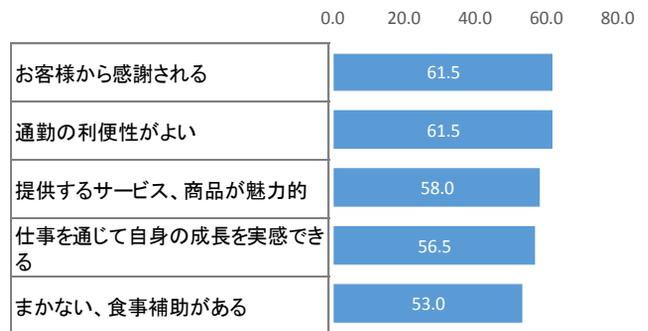
ファーストフードで働いている就業者にどのような改善が必要だと思うかを聞くと、最も多かったのは「パート・アルバイト・契約社員の増員による業務負荷の軽減」「正社員の増員による業務負荷の軽減」であり、人材不足が深刻であることがうかがえる。



(%, n=111)

■ 意向の理由 意向者の上位5項目

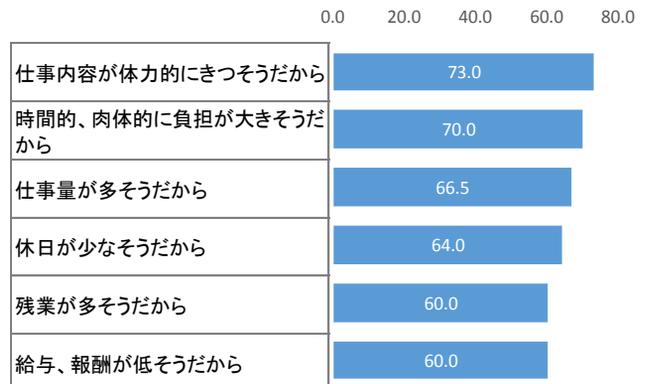
ファーストフードでの就業経験はないが就業に興味関心はある意向者にその理由を聞いた。「通勤の利便性がよい」と「お客様から感謝される」のほか、「提供するサービス、商品が魅力的」「仕事を通じて自身の成長を実感できる」「まかない、食事補助がある」など、幅広い理由が選択された。



(%, n=200)

■ 非意向の理由 非意向者の上位5項目

ファーストフードでの就業経験がなく就業に興味関心もない非意向者にその理由を聞いた。「仕事内容が体力的にきつそうだから」「時間的、肉体的に負担が大きそうだから」「仕事量が多そうだから」「休日が少なそうだから」「残業が多そうだから」「給与、報酬が低そうだから」が上位5位にあげられた。

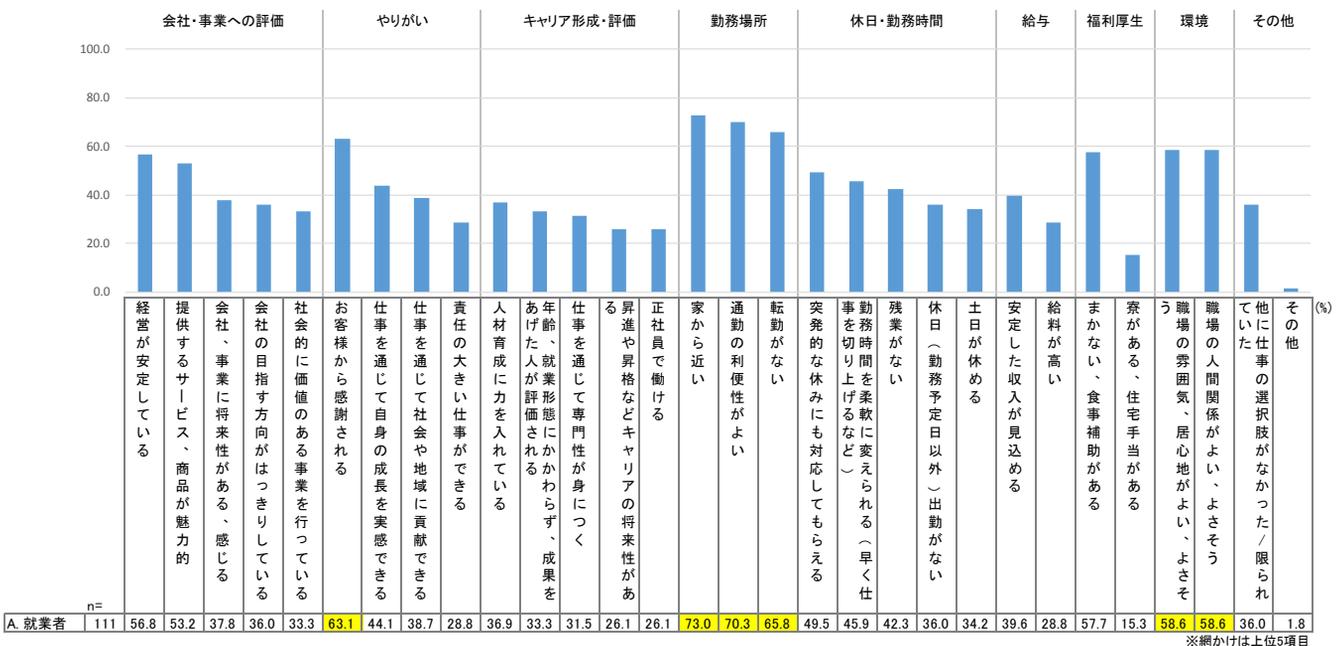


(%, n=200)

1. 仕事の選択理由

A. 就業者

ファーストフードで働いている就業者に、その仕事を選んだ理由を聞いた。上位3項目は「家から近い」「通勤の利便性がよい」「転勤がない」という、勤務場所に関することだった。次いで、「お客様から感謝される」というやりがいの面や、「職場の雰囲気、居心地がよい、よさそう」「職場の人間関係がよい、よさそう」といった環境面が上位にあがった。通いやすさや居心地のよさで選ばれているのは、女性の就業者が多いことも影響していそうだ。



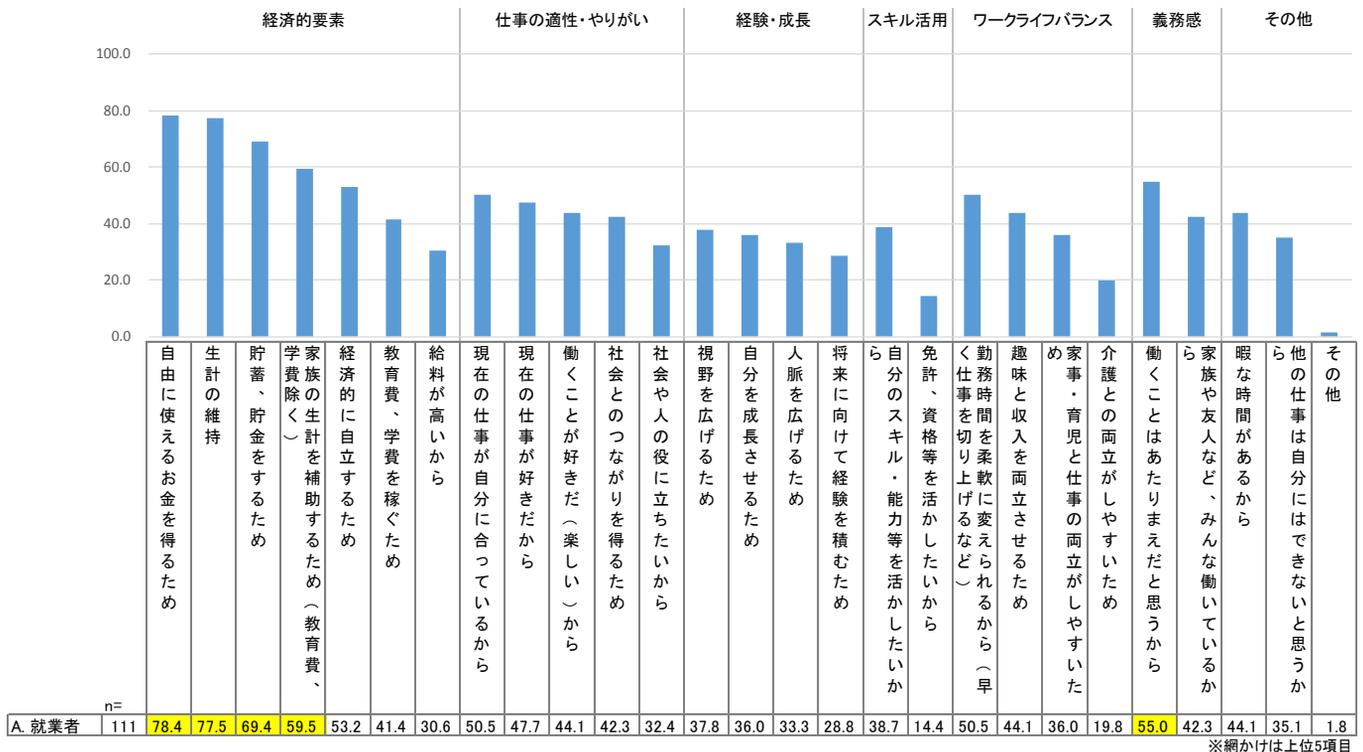
【A. 就業者】

Q. 現在の勤務先（店舗、事業所、支社）を選んだ理由としてあてはまるものをお選びください。（非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA）

2. 仕事を継続する理由

A. 就業者／正社員と正社員以外

ファーストフードで働いている就業者に、そこで仕事を続けている理由を聞いた。「自由に使えるお金を得るため」と「生計の維持」が8割近くにのぼるなど、経済的なものが上位を占めている。また、「働くことはあたりまえだと思うから」「現在の仕事が自分に合っているから」「勤務時間を柔軟に変えられるから（早く仕事を切り上げるなど）」という理由も半数以上の人があてはまると回答している。

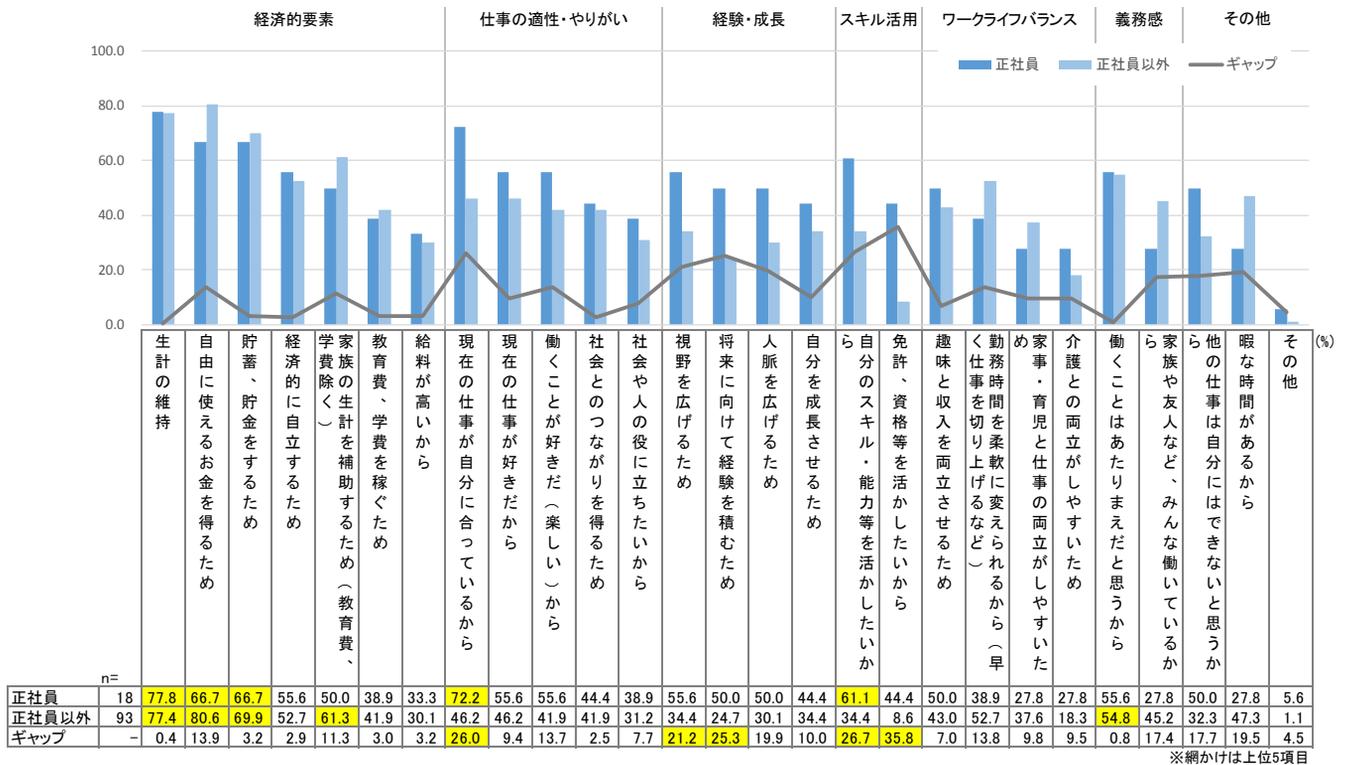


【A. 就業者】

Q. あなたが現在、「飲食の仕事（ファーストフード）」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA）

2. 仕事を継続する理由

現在の仕事を続けている理由について、就業者を正社員と正社員以外で分けて確認してみよう。上位に「生計の維持」「自由に使えるお金を得るため」「貯蓄、貯金をするため」という経済的要素があげられている点は共通している。正社員と正社員以外でのギャップが大きいのは「免許、資格等を活かしたいから」「自分のスキル・能力等を活かしたいから」「現在の仕事が自分に合っているから」などで、正社員は仕事内容を理由にファーストフードでの仕事を続けている割合が高い。



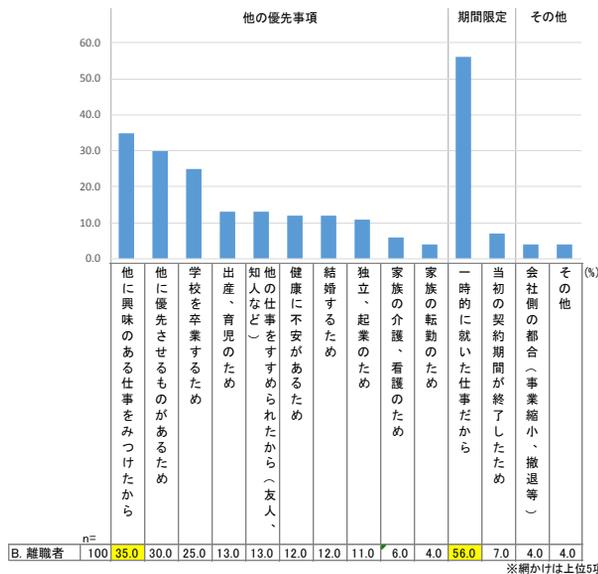
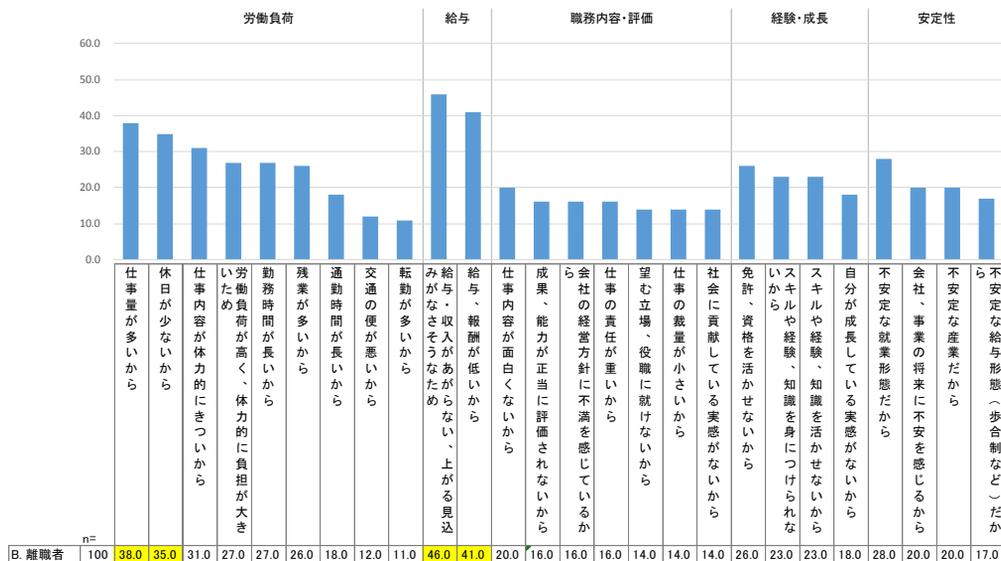
【A. 就業者】

Q. あなたが現在、「飲食の仕事（ファーストフード）」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA）

3. 離職の理由

B. 離職者

以前はファーストフードで就業していたが現在は辞めている離職者に、その離職の理由を聞いた。もっとも多いのは「一時的に就いた仕事だから」だった。次いで給与面や「仕事量が多いから」「休日が少ないから」といった労働負荷の高さが理由にあげられた。



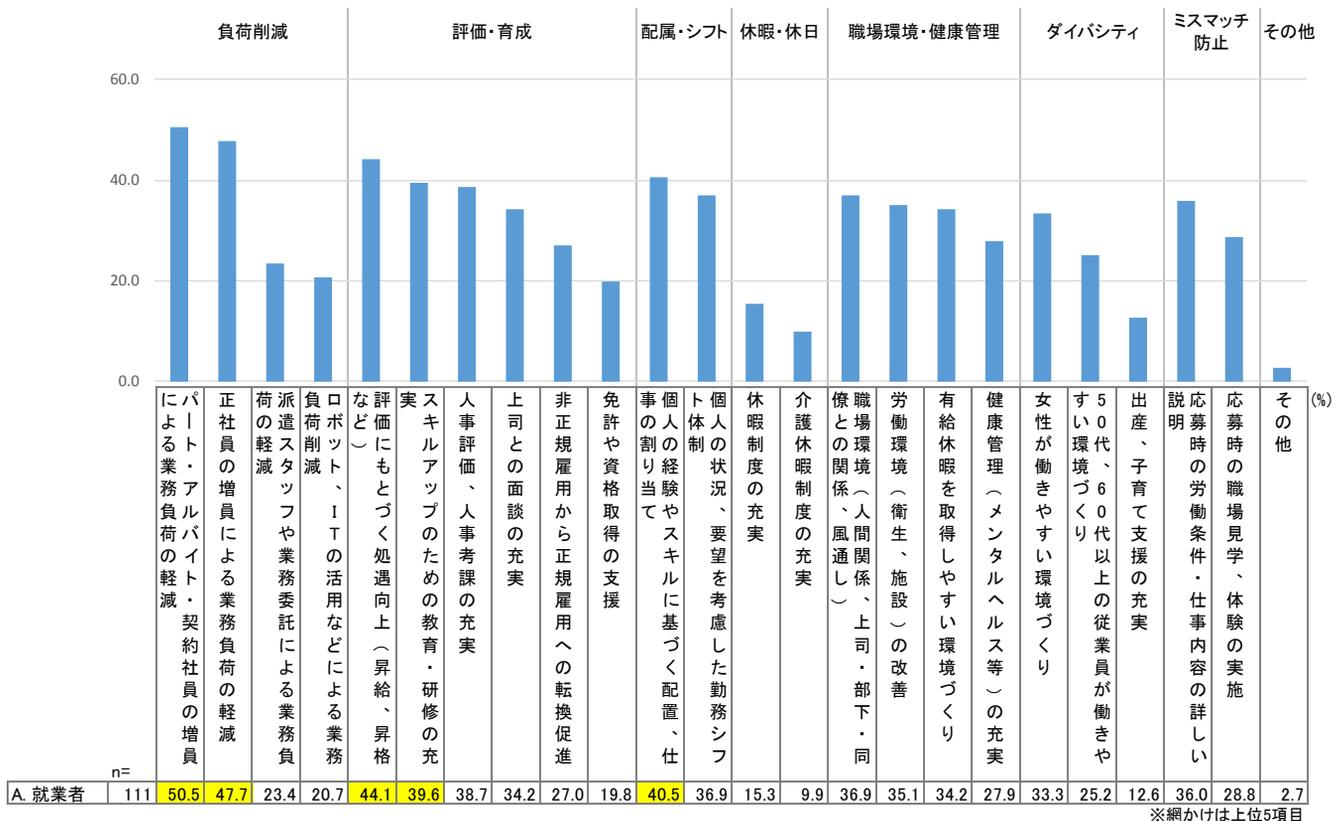
【B. 離職者】

Q. あなたが以前、「飲食の仕事（ファーストフード）」で働いていたにもかかわらず離職した（やめた）のはどのような理由からですか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA）

4. 必要を感じる改善点

A. 就業者

ファーストフードで働いている就業者に、現在の勤務先でどのような改善が必要だと思うかを聞いた。最も多かったのは「パート・アルバイト・契約社員の増員による業務負荷の軽減」「正社員の増員による業務負荷の軽減」であり、人材不足が深刻であることがうかがえる。また、「評価にもとづく処遇向上（昇給、昇格など）」「スキルアップのための教育・研修の充実」といった評価・育成面も上位にあがっている。



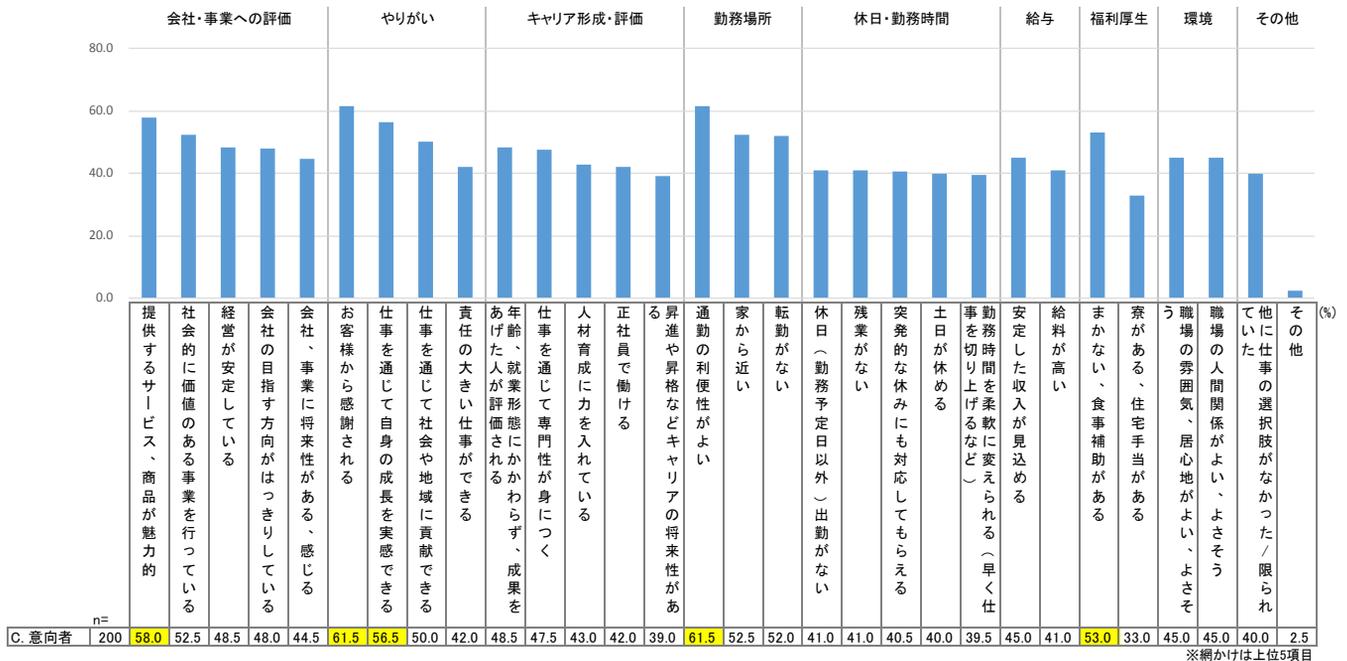
【A. 就業者】

Q. あなたの勤務先（店舗、事業所、支社）は何らかの改善が必要と思われますか。（非常に必要・必要計/MA）

5. 意向・非意向の理由

C. 意向者、D. 非意向者

ファーストフードでの就業経験はないが就業に興味関心はある意向者に、その意向の理由を聞いた。上位にあがった「通勤の利便性がよい」と「お客様から感謝される」は、現在ファーストフードで働いている就業者が仕事を選んだ理由と共通している。このほか、「提供するサービス、商品が魅力的」「仕事を通じて自身の成長を実感できる」「まかない、食事補助がある」など、幅広い理由が選択された。



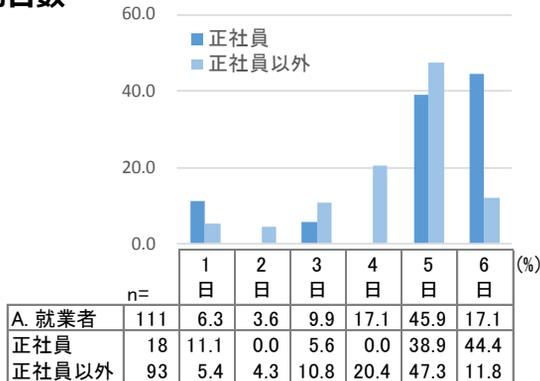
[C. 意向者]

Q. あなたが、「飲食の仕事（ファーストフード）」に「是非働いてみたい」または「働いてみたい」とお答えになったのは、どのような理由がありますか。（非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA）

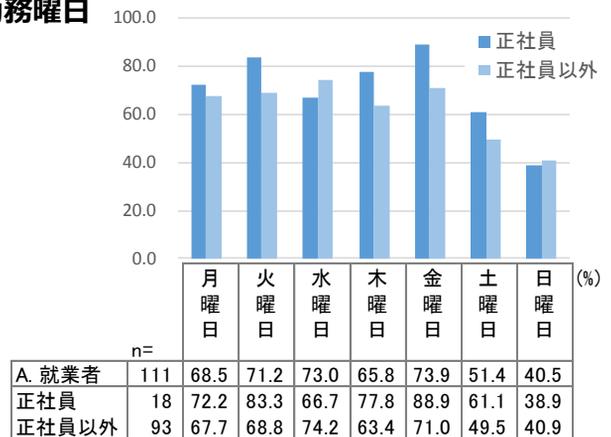
【参考】 勤務時間

A. 就業者／正社員と正社員以外

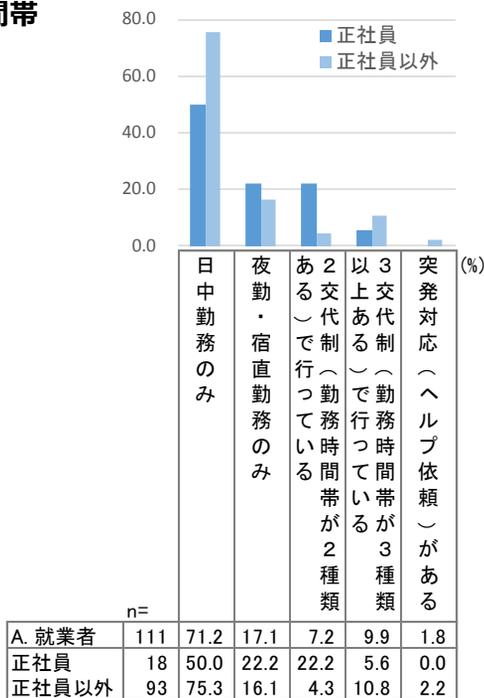
■ 1週間の勤務日数



■ 勤務曜日



■ 勤務時間帯

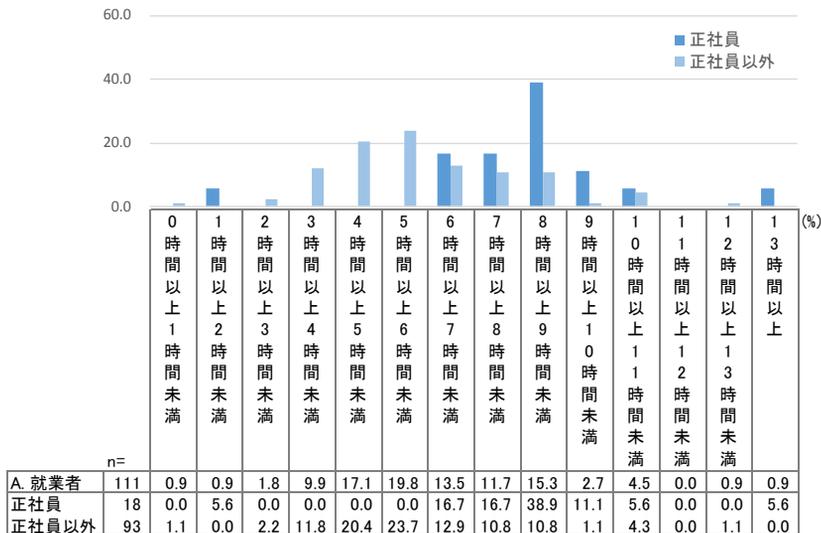


【A. 就業者】

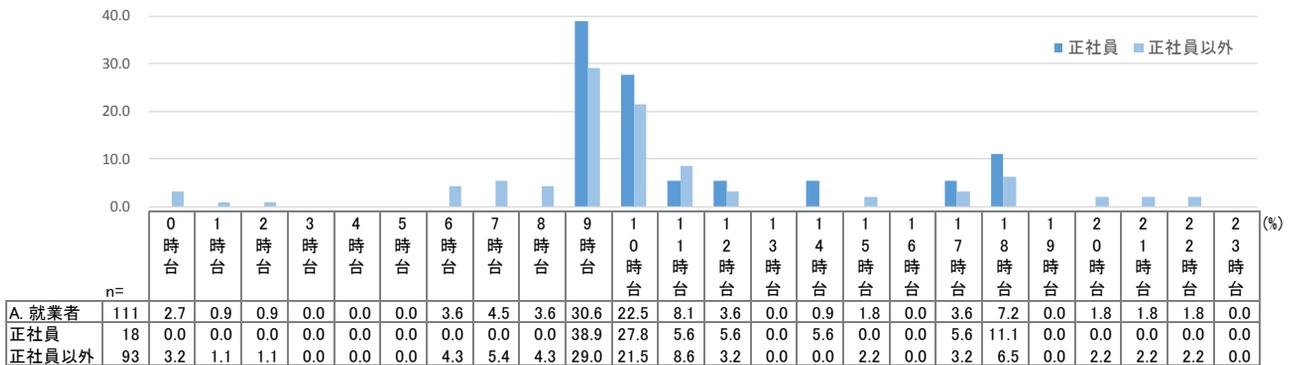
- Q. あなたご自身の代表的な(よくある)1週間の勤務日数をお知らせください。(NU)
- Q. あなたご自身の代表的な(よくある)1週間の勤務曜日をお知らせください。(MA)
- Q. あなたの勤務の時間帯であてはまるものをお知らせください。(MA)

【参考】 勤務時間

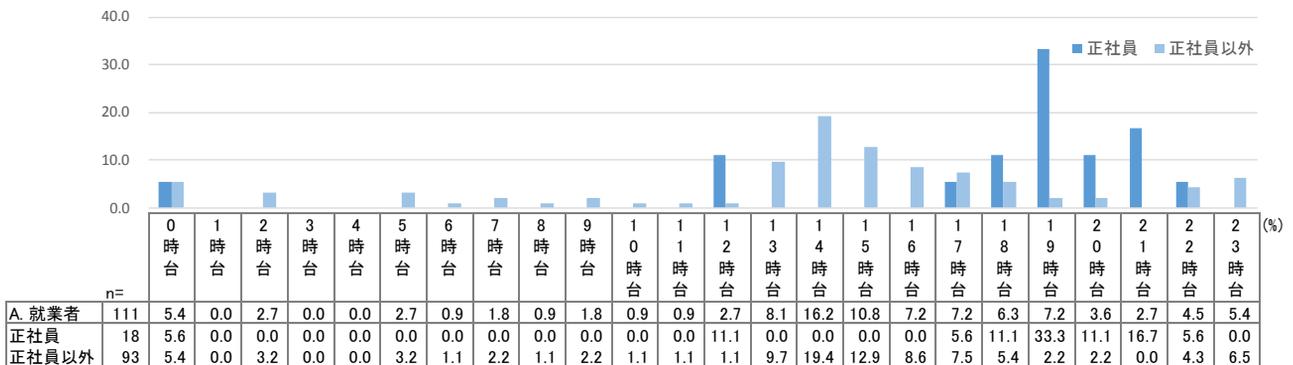
■ 1日あたりの平均勤務時間



■ 就業開始時刻



■ 就業終了時刻



【A. 就業者】

- Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1日あたりの平均勤務時間をお知らせください。（NU）
- Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1週間の勤務の就業開始時刻と終了時刻について多い順に記入してください。ノパターン1（NU）